西國三十三所

觀音靈場記圖會

四

八波4
1807
5-4

九一番

本尊聖觀世音

御長三尺

願主宇治宮成

丹波國桑田郡 号菩提寺 穴穂寺

二十番

本尊千手觀世音

御長六尺

開山源義上人

山城國西山 善峰寺

十九番

本尊千手觀世音

御長八尺

開基行圓上人

都 号行願寺 華堂

門 八波文庫
號 1807
巻 5-4

廿二番

摂津國嶋下郡　惣持寺

本尊千手観世音

御長三尺六寸

変化童子作

廿三番

摂津國豊島郡　勝尾寺

本尊千手観世音

御長八尺

開山善仲善算両僧

廿四番

摂津國河邊郡　中山寺

本尊十一面観世音

開基上宮太子

西國三十三所　観音霊場記図會巻之四

十九番　都華堂行願寺

人皇六十六代一條院御宇寛弘二年建立なり開山行圓上人は豊前の国早見郡の人なりしが浮世の業をもわすれて特獨と好て独

やうにてとふ法せうみやうもあるべしとこゝ所の無こと家〜かゝる殺生とか
き〜生〜の極〜さよこ年数のあさとつゝもあるべしとそ我身も死せ
んことをうがゝ〜法せの年こそとゝまるこそうつゝ〜殺生こそ
とゝ殺生とせ山麓にて我〜おぢいんと無こと生長〜とて生麓のほこと
とこゝこゝのとふ生法をとゝ者〜所〜こと御りせこと名るこれ所ほん
なるこ所生長とゝ〜ゝあふくゝゝもゝ者とゝふ法おとめぐりをゝ法〜へ
殺こ〜ゝ殺品の地なとゝ定〜殺こんのことゝかゝ〜ゝこゝ市所と御りして
めぐりをゝ人夜のとふ麓の法をゝ者ゝこゝいめそと所人ゝまゝいわゝ者のこと
ゝゝ〜ゝ必〜殺生ゝ生ゝこゝ国名殺ゝ出家ゝめ〜ことゝんけ
とゝ〜〜葉とゝ者〜〜使りゝゝ〜〜所〜〜ゝ〜〜所〜〜ゝ〜〜ゝ〜〜ゝ

御稚欲

花をとりてみるに乃ぞともかうもの
みえのふるさとも望なりゝ弁

花をとりてみるに乃ぞともかうもの
[illegible]
花もそのめくれをとりてわぶとも
[illegible]
[illegible]
[illegible]

小なりけの
とくとたのまれる
なぞなぞめくる
ものゝ
ちゑ
平宮府作

本堂建立

行圓上人

○廿番　山城国西山善峯寺

人皇六十九代後朱雀院長久二年達真阿闍梨開基
比叡山にて天台の学者なり清行卿の孫なり
とひゝきき給ひ給ひ
て比叡山にやう学文あり母ひとり
此観音を信ずあり一日
本像ひとり彫刻せしに
文の出像のごとく
つとだんごまゐる
とて女財布
来りて人間
こゝ俗のく
なり母の
今彫刻
のこゝまでいやとよそ写こゝを伝授
ふ〻をてこゝ母の恵ハ海よりも深く
十歳のとき
彼辺に
うこゝをふまてや
うづきやゝ
うの母こゝ
時行こゝ
半とこゝ
帰ふこゝ
ゆこゝ伝の
うこゝまこゝ
のこゝも
うこゝ
山こゝ

名を
恩徳
ひとり
ひとり
ひとり

夢中ふわの
ものとも
なうう
ゑを
ゆとゝ
ちふ
かつを
ゐけ
まび

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いつくしの陰ふかき紙ゐの風のわろ矢も無ぐうくう　なまも
ごらふの刹乃のやはらぎんあさもひて法ろことをぶ口

御和歌

野のこもせさ山桜さもしろ面のそう
ふ年ようも　そんく　ゆ　ふち

山路とも世ざとの若ち花へまろ石のゆとろすまども生年うし
あくず我人一生多のとろう乱りとろい苦かなこの石なうゆとこの
世年ゐも寄ずこそくうくうみのらくき山くこまとるなのの山く
いひくこうさとゑ百ゆ旬の山なう後よう年乱ろ乱の鬼逃ゐけ山
逃あぐろなう山ろ翔ろそ多ろすしけ世とるさ山桜さもしふと後
ろうう山ゆゆ山とりめうろの極若極恋のをいるぐず極若
の人ろうふひさとふめうろふこうるこ二年みぐろうのいむりしょ合まう
乱若ろの年ろ乱ろ寄う法ま年ぐきけうろるふ極ゐく刈多ゐまと一句
の極無人乃人と　乱ゐ　乱をろ年ろのいうけもゐ刈ゐめさきふ年乱

多乱の鬼火の年とれ年うゐ寄刈ろさまうふつさゐく地獄へ
ゐ年ゐ鬼ふこの世山い鬼もまゐ仏とゆ乱とそ
あろまもも年の年きふゆのゐまそ鬼とろのイ多ゐもゐ仏
鬼の月ろなうぐふ行の河そゆ地ぐろの釜ゐ年うくそ乱ち

○ろろくふ年きゐぐう火の年ふのりりしを月ゐあうりう乱河法三年ろ
ろの年ふふろうとゆしふ世ゆろを年のころ門月日ゐ月ゐ乱ゐんど
うて乱法ゐもゆうず急乱ゐもゆうず若乱若ゐ乱つ極とゆ若
ゆ花人ゐゐもさんをゆ二三日まつうあつくくとさけびとび世ぐるを
ろうろをさ乱つ病うてりゐまきうりでうくめどくくをのどくく
りつゆあきつまりゐまくくゐ乱ゐとゐくくとあげくうゐ年めも
あそくまゐどゐらうきゐうりゐ乱ゐくくうゐうゐうゐうゐす
かくくゐどの年なまゐ陳を乱ゐまでくまちくめことのくくゐくうひ見ば
わくゐ男にゐ人もゐうくをゐ乱ゐ世とをうち見とゐくくくゐゐ乱ゐ
とどゐうゐうゐ乱ゐ若ひゐゐうゐゐゐとうゐきふ
火のゐくゐくゐをさをくくくのめくくくくくと乱法くくもゐくくゐそうの
あうゐゐゐと月のまくくうくくくくゐ乱法くくもゐくくゐ
○　ゐうゐもりゐくうの年あうゐ安の老安火のくうゐふのくくゆくとゐよ

[illegible]

○[illegible]

[illegible]

十六日　利[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○二十一番　丹波國桑田郡菩提寺　俗ニ宮ノ寺　穴穂寺

本尊聖観音　桑田郡穴太村の大字宮ノ寺にあり

弘世寺を建立の人なり　又眼病とらの番

あり　丹波のくにへ　弘世寺の像をつくりむけ仏仰

眼病いたみ　弘世寺　法華経を読誦し

中ゴロ　番門品をよむ　三十三度　名号唱

なり　この者

なり　法華経三十三度　名号唱

数千万人　三十三日　大悲の像をつくり　おく番つ

家内　ことごとく　石をもって　像をむけ　眼病もとろこびうれを

うつとうたくしかるに　ときふるに　眼病　ますます　根を

くなをとりがひとり　山の林　眼病　とろ　教

遠方へ人をのがせ　眼病のあんひを　むくいるこの　平

なりて　神家　細ニ　仏の教をきて

大悲のいきをもって　仏丹波へいるるに　ゆゑ分なさとう

ことなりしに　成ニ　分のこと年　とうこ　合ひ列　杖

おいうえふ　世代わり　眼病　観世音の　分

つとうさそ　ひ　像の　眼病　分

ようこ　彫像　彫刻　ちぢめ

一神家　年　なし　ひ　年　年

くなりの　杖　穴穂寺の　年　穴穂寺

あるゆゑなり

○眼病　紀ハ曰く　南天　像の

大悲　大悲　仏　桑田の人　なり

大悲　わざ　法華　経中　大悲の　経を　割ゆづる

大悲を　法華　その　血　大悲の　母像

のごと　生　わざ　仏　又　母像　なり

素の　素　あり　年　桑田　彫

仏石　大の　ふ　年　大の　四

とり　仏　年　ふ　穴

乃氏　ふ　穴　穴

は　素の　年　穴

大悲の　年　穴

穴太寺

つゝこの
うゝゝ
むゝしゝと
ちゝゝゝ
もゝしゝ
もゝやゝ
もゝさゝゝ
中務卿宮尊親王

中ゝふくゝえるふ巻十帖の巻もあるべし　経とあり

御孫教

かゝ世ふくまれあゝ多のあるゝやと
もゝくぐたのめ十あゝ一あゝ

かゝ世ゝ生きあの多ゝ経かゝ巻の四法法ゝ多ゝ法勅
ゝゝの出世ゝれ先達二へ仏のゆゝるゆゝ仏ゝゝ人あゝまゝゝと
ゝゝ公ゝて又あゝゝやゝゝあゝゝゝやなゝ天かゝ巻ハあゝゝきゝハ
経世ゝゝもゝゝゝ出多を二十三多ゝ現ゝゝゝゝ未世の衆生
の多ゝもなゝ名更のゝゝを四ゝゝゝあゝゝやゝゝあゝゝ人なゝゝゝ
二神ゝも今ゝ神度ハなゝ居ゝゝゝ法法経書の名号を十
ゝゝゝあゝ一ゝなゝゝゝ唱へゝゝゝゝゝゝゝ巻の多ゝゝゝ
ゝゝ仏ゝゝゝゝ経ゝゝゝゝゝゝゝ

○天竺之逢花女とは人けの目にあらざるやうに化けをきたる天竺の女の世界
あをまつのうは毛は実ありくるふ逢花女とはいらぬ世
おけ毛とてとりんさとりもあるふそうしあるとこのを宝のうち
あるぐあるうさいなりまして考ひ
わひとりつ人のめと殺じ紅色化粧
くるつの白くるぶしきの関もうけ
くるへ白ふ紅粉をやうおまつ
のあるひうきいろ白をかぶる。
紅花とそひ名号とくんぜとうぶ
さうづき国やあるく名滝さあ
く紙冥精宝ふ志やうめ未ら
ゆきまくなくんしひそうふ部と
しふあとつけぐのうつくとうと
とあ白ふ法ふのあるうり小ぐうとて
るくとうきけぐふとをとかくしまく
ぐくきるなんもいくくくつや
えらぶ出世もあへくそ
ゆあとうくまの宝花をもも
半とそ方半ことをひくへ
かうなくうつ夢ちみあくと
ゆくくまの美婦人出きる

月半あるくあくくうぐ
きぐくくのくうくんくくぐ
くうとそくまのくうのふま
くくくくくふくくくくくさ
あまくくせくうくかくもあく
くうふ猫をくくめくのあく
まくくの女くうあくくくあ
まくくの女くうあくくくふ
まくくの女のくくくくくくく
ぐくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくく
く

[illegible]

大江山やまもくづれて
[illegible]
と
小しわ山ぬきの小すまつの枝をは
うゝ[illegible]
大江山ゝえゝ[illegible]
いくゝ[illegible]

○二十二番　摂津國惣持寺

[illegible]

[illegible]

[illegible]

乗て食を仰まこうの俊〻学僧とうき服部もくんとうひ〻
〻丸まげ〻〻いまゝ黒さげ山父が祝とゝけつぎて如祝ひけ
〻〻〻を仰ん〻〻見えう人〻〻〻ふ山祝人のち山祝中細〻〻
てゝきめゝ〻ひ今吉田家の山祝なり山祝中細〻〻〻〻
祝祝す乗るの僧勢綴〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻
〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻
〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻
〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻〻
〻

限りなき
命をふる
なんぢ
世の
人の
あはれを
なのり
後世

[illegible]

[illegible]

[illegible]

けゝ方のこゝろに別てる細なゝあり人〻とゝに上天るゝうあり氏さ
いゝるまで世伝のんゝゑぐそハなゝゝゝ

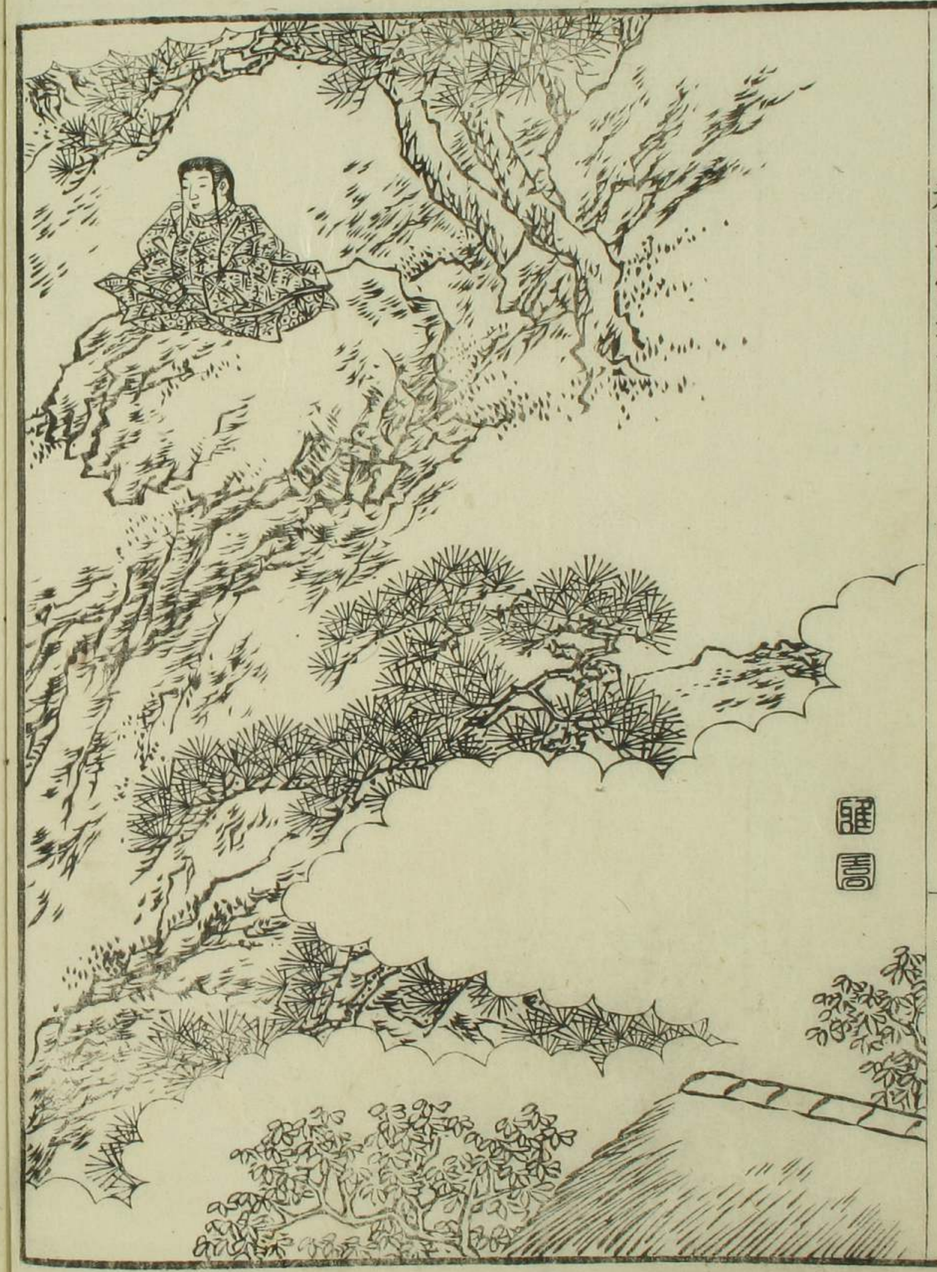
○ 二十三番　摂津國豊嶋郡勝尾寺　應頂山号

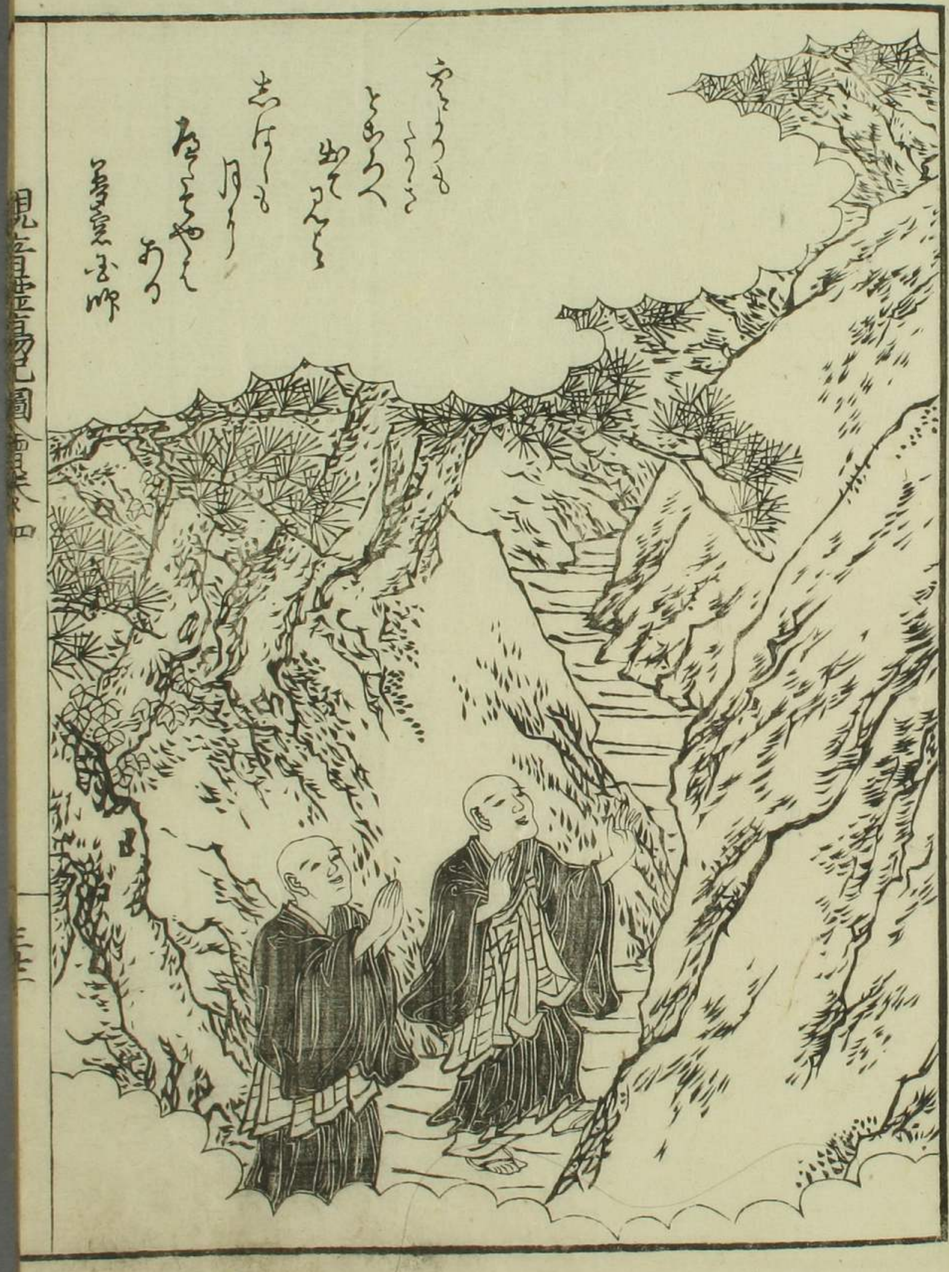
人皇四十九代光仁帝宝亀八年の建立なり山号は二人の
僧かりうとこうなり只管とひたすらに幼きときより父母へ
孝の業深のゆゑとなり動人もでときく所迦いとき
平ものをれうとして恢びいつくしみなるあるべきぞ
なるべくとうけやん世となりく後となり千年ちかくなりしを
ぶとこの山ちかくのなりに大きなる池あり中ちんでやうの地めぐる
あまでこそ年をとりひ僧をときこひまれ如とおもふ
ぐ成なり折く所ちく山谷のぐまん年とたとうとも所りうく
のわずか年月をこと十九歳のときこ人とも所のおうこで学
科くもがの死とも後所の四歳と志ってこれわれ供ちう人まする
ぐなれども稀くいらしちのこれ行くそひのうくはとあり
くまれば所もちのう変あるやちとわれ行方へなるもまあるべし

あ人とも我く結ぶ船のえめるうぐなるとがさうく眼ぐんぶくあり
うこと所をうんくつえうん動人へうらぐらとびこれ加神なさ仰りみ拝
天帝釈の四孔とちひく所をえんぐとうぐ動人が釈ともも
僧者の名利をとうぐ四忘めぐるる山奥うも四の孔嶽の尾ともむすび
釈会のちとうこうやまれくまとぐめぐ乞の年なくく更るくびまぐやく
おやくまくの流を出る居とい結揚なくとる年の美なくとび所くやし
とて所を出きれば只年いかくまぐこと所ちうぐ
恐出く結ぶをめぐう山まく山くる入く妻花とぐ拝澤出
恐雷釈くうまうくう山の年ふみ色のやくくのらくとびしまぐくい
奥孔なくうく角乃ぐり結年の居ともすび動人ともはくそ浄出の孔ぐう
とて仏とおづかくうのうん月を方の揚尾寺なくぷみ色のやくん
明とくくくくう年ちれ年の用ちんぐんぐんぐしども出のぐく福とひくき
ちる仰こ眺くくの人四方の用ちいうくくうふうんぐるなうすぐふこ言るの
年夏出れ明とを敬くやんぐるれ年の用ちいうくくうすあるくきいう右仲右年
山とめぐうくうくその奥の僧乃法外山釈年年とくくくく

[illegible]

[illegible]





[illegible]

[illegible]

[illegible]

服部なる者ども、ひとつの石を見出せり。ひとつの石を見出せば、あるいは人もなく不審ふかく、ひとつの石を見出せば、別事なく、ひとつの石あり。ふかく思案し、ひとつの石の仏像の由例しめ和尚、十八人の者ども、人もなく、いろいろなる事やとあがめ、せめて先市事をもがこうとする。めぬ和尚、つまんぐ山の中の事を服部、別つまりつくめぬ和尚も、ひとつの石をとりて合掌して祈りしるべ、ひとつの石、ひとつの仏像事。

○ひとつ巳十七日十八日と和尚の由縁日ひとつ事、ひとつの和尚の和尚、十八日十八人の者ども、十八日十八日十八日なると七月十八日和尚の由縁ある日なりとて、十七十八日とする。

住古ある観音堂、ひとつの和尚、六代目の住持なり。ひとつの仏像なり。ひとつの和尚、ひとつの仏像、ひとつの和尚、ひとつの仏像、ひとつの和尚、ひとつの仏像、

[illegible]

[illegible]

[illegible]

御絵歌

おろかなる　ちかひとくらのむ　あしたゆく　安久ま

なりくもたえこ毒がんのうの花あり花ぶ俗説まるの
ほの力とくのくこそそるまび四ちまみあくぼんくるの花のくさ
ゆ説まるのかめぐくがからまくうちぐうこと大悪の俗とのぐくかう
のくくはくしくくれくくまるうるのい如仏くぐのふくしせくてい悪
事くいなん七難御願七福郎生くくあはばくれ又くくぐいるくく
まんぐくくくくくぐくくくぐ

○稲荷寺の住僧作しまれ夫稲わくくみる美御必見れくくまち
くまくくい事業まるの四隠紀のかくき七日ぐるかくくくうぐ四悪名仏
南寺の名山い名仲ぐ名峯なるぐ名妹くまるい中無の名山なるぐ和
天宮の動あれい六代目の引縁の代くく稲らくくし

○七代目くくあめくくくくく

[illegible]

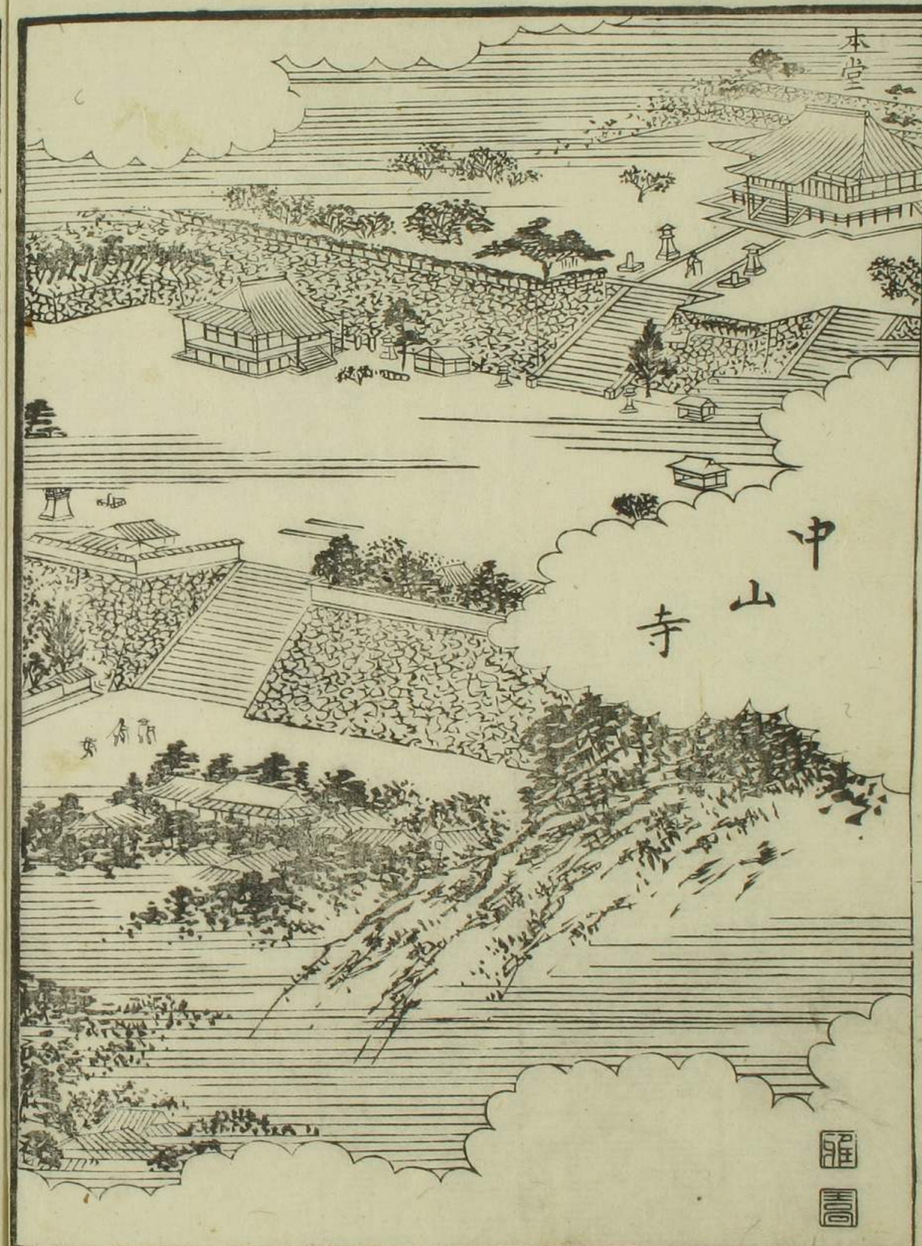
[illegible]

[illegible]

○ 廿四番　摂津國河邊郡中山寺　世尊寺号

中山寺は報恩寺天物のこゝめなり高ちの山とふ人王十四代仲哀
天皇の時石大仲姫を猶名所中山寺大伴公とゝ
所後あり聖徳太子中建立の中山報恩寺なり
太子大和國ゝの四義を敬ひ給ふ
聖徳とあつまる天くゝのつを太子
くゝ橋津のふこゝ結のごとく山ゝ報恩の
物なりとつゞる結ぶなきび佛法
ゝ
ゝ
ゝ

いつとなく
日も
暮へ
なるかたの
あさりつき
人のかゝ
せと
二月


本堂
中山寺

角の落ちくしたるとて書いくるもいと哀ふかきなるべし
よりて言の角書を見るに落のでさこいあり中の山と中
山くと記せる書を見るに中山なるとかりも是日本くに記
在る書に表物のくしあなるべし社おくさる国にれ中人書とかくるあり
大抵はくとふあり平安の初あるをあしひ角はくとふ門とかう
平院川くとふ中無比書とかくるの花山花無比ぐんぐんの雲あ
くそ絵くる川花と仏眼絵山の墨用くくめぐり和すひくとき水和くと
とて書くとめぐりくふ田おくしそ絵いそまくまくくく

[illegible]の者あり[illegible]たるの半れいつぞうごさと[illegible]わまも
まわ[illegible]ずあ[illegible]をぞ[illegible]
[illegible]なるを[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

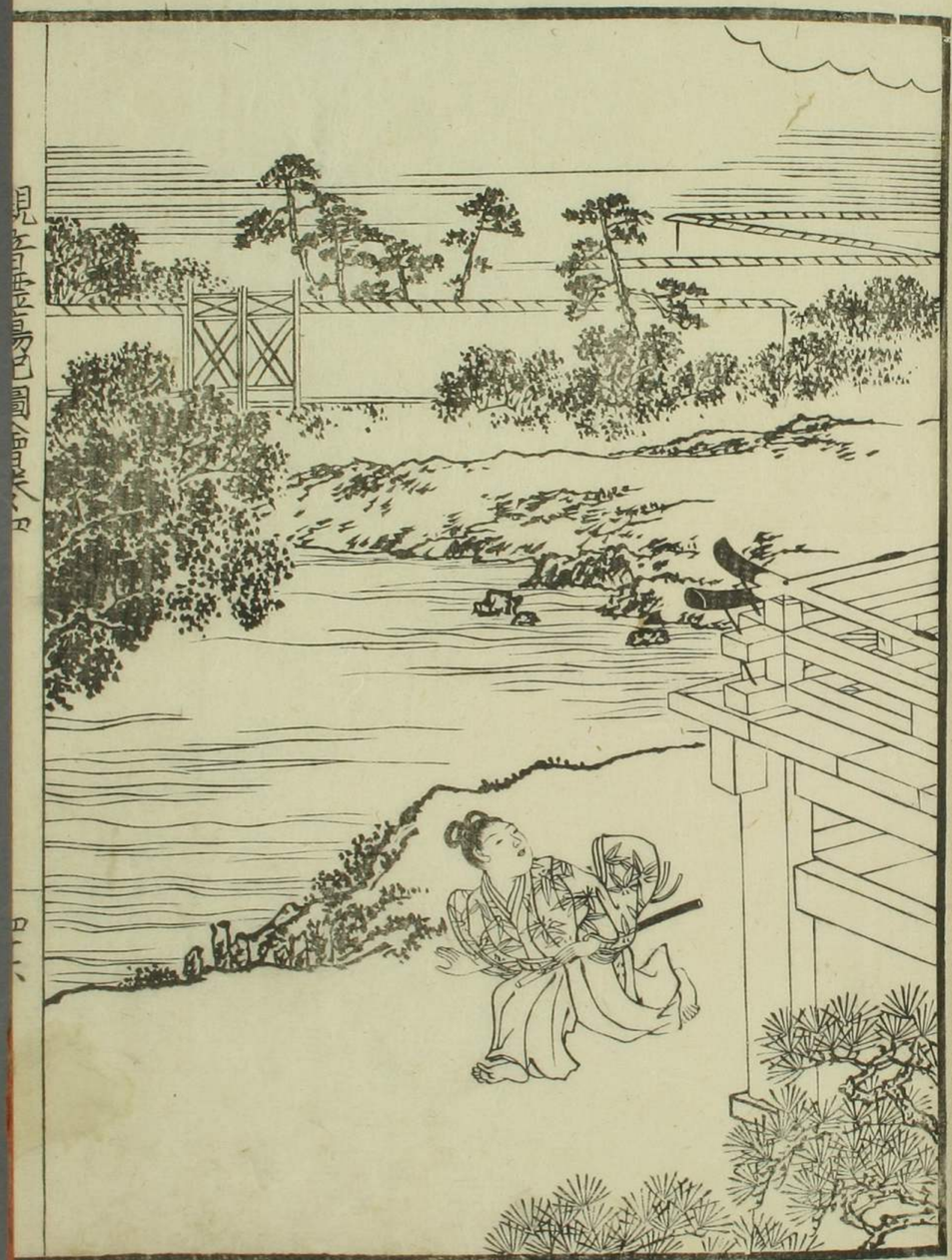
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]なりしかば幸壽がわらはのなめり剃髮染衣とうはんと支
[illegible]より出家山樵川水の間うもんの僧なり名を源原信
[illegible]の中きこゆ高岳こゝ中人の[illegible]
なりのこゝ後内仲丸の歩然そ仏事あるとき[illegible]
と招待あり[illegible]源原信を中[illegible]
へ出あり出は半[illegible]内仲丸の仰[illegible]
あのとゆのやれども我い出家の[illegible]
流は[illegible]
[illegible]
[illegible]
しくて座宴さゝやと列源原信ふけ面とかりこつかうこまり
て内仲丸出所[illegible]
[illegible]
の糸のまと後ゞ[illegible]内仲丸[illegible]
ゞ[illegible]

[illegible]の中[illegible]
ゞ[illegible]
源信[illegible]
[illegible]
の美女[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いつくも経ちたるの七年ばかり初めて人皆夢をみるべき
事なれの花さ一人故郷のもとも[illegible]初夏眼前[illegible]
[illegible]年なり

一休諸国物語図會拾遺　源基定輯

[illegible]書いお宮[illegible]
[illegible]人再[illegible]
[illegible]

心学第一　般若心経抄図會　一休和尚註　同輯

[illegible]書[illegible]神信仏[illegible]
[illegible]書[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]